

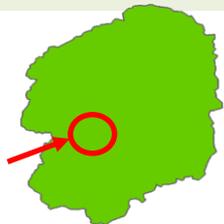
# 産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28~29年度:計画作成主体:鹿沼市農業再生協議会)(栃木県)

## 取組の概要

- 対象品目 : 野菜(トマト)(産地面積5ha)  
 主な取組主体 : 上都賀農業協同組合低コストハウス第3利用組合 農業者5名  
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加  
 基準(H27年度) 202,570千円  
 目標(H30年度) 222,827千円  
 導入施設等 : 整備事業(低コスト耐候性ハウス1.16ha)



栃木県  
鹿沼市



## ポイント

### 【産地の課題及び取組方向】

近年、高齢化による農業者の離脱や後継者不足等により、農業者の減少が進む中、本市のトマト栽培は盛んで、特産のいちごやにとともに市の三大園芸作物に位置付けられ、生産量・出荷額も増加傾向にあることから、これからも発展すると考えられる。

このため、本事業によってトマトの面的な拡大と単収向上、品質向上による単価アップを図り、競争力を高め次代を担う若者がトマト栽培に魅力を持って参入できる産地づくりを目指す。



### 【産地の体質強化に向けた方策】

- ①低コスト耐候性ハウスの整備により、生産規模の拡大・単収向上を実現
- ②販売額の増加、ブランド化によりトマト産地の強化を実現
- ③品質向上による上位等級品の安定出荷の実現

## 産地体制

支援

- ・鹿沼市
- ・上都賀農業協同組合
- ・上都賀農業振興事務所(県)

- 鹿沼市農業再生協議会
- ①計画の策定・管理
  - ②取組計画への助言

情報共有

支援

- 取組主体
- ①取組計画の作成
  - ②取組実施等

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

- かぬまブランドの認定を受けている
- 鹿沼市ふるさと納税返礼品「まごころ便」への取組

## 取組成果

### 【事業実施による直接効果】

低コスト耐候性ハウス導入により

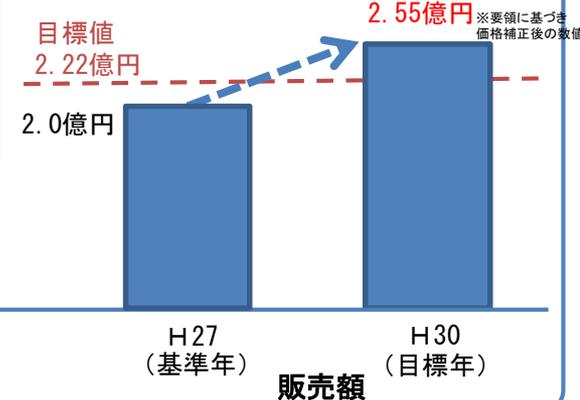
- ①作付面積の拡大
- ②生産量・単収の増大
- ③品質向上による上位等級品率の向上

### 【事業実施による間接効果】

- ①産地確立に向けた機運のさらなる上昇
- ②栽培・管理技術の向上



**販売額が27.5%増加**  
(達成率:261%)



販売額